

『ハンカチともだち』

ながわ ちひろ // 作
アリス館



ある日はちちゃんがポケットに入れたのは、こびとが住んでいるふしぎなハンカチ。学校であそびに使ったり、こぼれた給食をふいたりなんて、とてもできっこありません。そんな気持ちをわかってくれたのは、いつもひとりで本を読んでいるミヨンちゃん。あら？ミヨンちゃんのハンカチも…？

新しいともだちと仲良くなる時のドキドキが、にっこり笑顔に変わりますよ。

『ちび竜』

工藤 直子 // 文 あべ 弘士 // 絵
童心社

小さなつぶから生まれた「ちび竜」が目覚めたのは水たまりの中。ボウフラやてんとうむし、たんぽぽ…いろいろな生き物との出会いを通して、飛び方を学び、水や土と仲良くなり、次第に神通力を身につけた「でか竜」へと成長していきます。

工藤さんの文は声に出して読みたくなるほどリズムカルで、あべさんの絵はページから飛び出しそうなほど生き生きしています。何度も読み返したくなる1冊です。



『やまねこのこんにちは』

はせがわ さとみ // 作
あかね書房



やまねこは、引っ越しのあいさつ行く途中に偶然、森の仲間たちの会話を聞いてしまいます。「引っ越してきた子はおしゃれな子がいいな」、「物知りな子がいいな」と話す仲間たち。おしゃれでも物知りでもないやまねこは、困ってしまいます。みんなに気に入られるように頑張るのですが、なんだか上手くいかなくて…。

そのままでもいいんだよ、という温かいメッセージを感じるお話です。

図書館おすすめブックリスト

2020年11月発行

編集・発行 砺波市立図書館



ココロふるえる本との出会いで ^{ハート}♥フル充電!!

No. 13 小学校 低・中学年むき

『りんごだんだん』

小川 忠博 // 写真と文
あすなろ書房



赤くて丸い、つるつるのりんご。1年間ずっと食べずにおいておくとどうなるか、みなさん知っていますか？

少しずつ色が変わって、しわしわになって、りんごはだんだん形をかえていきます。最後はびっくりすることまちがいなしです。

どうなってしまうのか、この絵本でたしかめてみてください。

『おひめさまになったワニ』

ローラ・エイミー・シュリッツ // さく
ブライアン・フロッカ // え 中野 怜奈 // やく
福音館書店



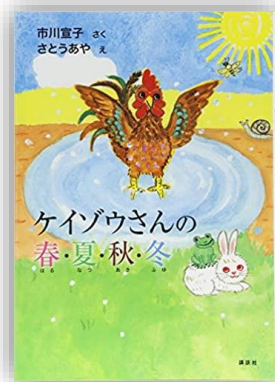
将来、立派な女王になるため、コーラ姫は朝から晩まで勉強や運動など、やる事がたくさん！そんな姫を助けようと城に来たのは、なんとワニでした。知恵を出し、ワニが姫のドレスを着て身代わりになり、王さまたちと話をしている間に、姫は生まれて初めて城を抜け出して…。姫になりきったワニのふるまいに大笑い！コーラ姫にエールを送りたくなる物語です。



『ケイゾウさんの春・夏・秋・冬』

市川 宣子 // さく さとう あや // え
講談社

幼稚園の庭にすむにわとりのケイゾウさんは、こいのぼりが嫌いです。プールも嫌いです。落ち葉の山も、氷も…。どうしてケイゾウさんは、こんなにいろんなものが嫌いになってしまったのでしょうか？幼稚園の子どもたちが起こす騒動や四季の行事が、ケイゾウさんの視点でユーモラスに語られます。



『きみひろくん』

いとう みく // 作 中田 いくみ // 絵
くもん出版



きみひろくんは、誰からもたよられる人気者。けれど、ともきくんにだけうそをつく困ったところがあります。そのうそは笑えるものなので、ともきくんはいつも「すごいね」と返しますが、ある日、きみひろくんが「ぼくのおかあさん、ほんとうのおかあさんじゃないんだよ」と言ってきて…。

そばにいてくれる誰かを思い、じんわり心が温くなるお話です。

『むしとりあそび』(月刊「かがくのとも」613号)

井上 大成 // ぶん 中田 彩郁 // え
福音館書店



春から秋は、いろんなところで虫とりあそびが楽しめるよ。特別な道具がなくても、指やぼうし、コップや木の枝を使って、簡単にとる方法があるんだって。テントウムシは指でつついて、手のひらにぽとっ。アカトンボは、後ろから羽をすばやくパシッ！紙を丸めて糸をつけて、アリジゴクも釣れますよ。

楽しくあそんで虫や自然が好きになる絵本です。



『カイとティム よるのぼうけん』

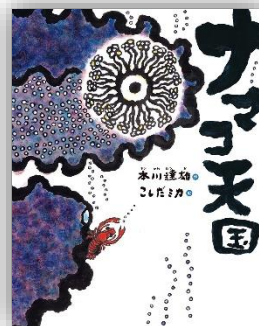
石井 睦美 // 作 ささめや ゆき // 絵
アリス館

「きょうから、ひとりでねることにするよ」と宣言した6歳のカイくん。でも、いざとなるとやっぱりこわくて…。そこへ「おてつだい妖精」だというティムが現れ、カイくんを恐竜の世界やトランプの世界など、次々と不思議な世界へ連れていってくれるのでした。夜がこわいと言っていたカイくんが、少しずつ成長する様子が伝わってくるファンタジーです。



『ナマコ天国』

本川 達雄 // 作 こしだ ミカ // 絵
偕成社



つつくとフニャッ、にぎるとカチンコチン、ゴシゴシこすると溶けてしまう「ヘン」な生き物…それはナマコ！

目も鼻も耳も心臓も脳も、な～んにもないのにどうやって生きているの？毒があるって本当？わからない人は「超人！？ナ・マーコ」に聞いてみよう！

パワフルなイラストと、散りばめられた豆知識が楽しい、まるごと1冊ナマコの本です。魅惑のナマコワールドへようこそ。

